

2022年7月21日

各 位

会 社 名 株式会社ジャパンインベストメントアドバイザー
 代表者名 代表取締役社長 白 岩 直 人
 (東証 プライム市場・コード：7172)
 問合せ先 取締役管理本部長 杉 本 健
 (TEL. 03-6550-9307)

第2四半期業績予想及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年2月10日に公表いたしました2022年12月期第2四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年6月30日)、及び2022年12月期通期(2022年1月1日～2022年12月31日)の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本業績予想の修正に伴う1株当たり配当額(中間及び期末)の変更は予定しておりません。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年12月期第2四半期(累計) 連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,190	1,240	1,140	872	28.97
今回発表予想 (B)	12,500	1,500	6,700	5,300	175.55
増減額 (B-A)	7,310	260	5,560	4,428	
増減率(%)	140.8%	21.0%	487.7%	507.8%	
(ご参考) 前期実績 2021年12月期第2四半期(累計)実績	5,437	1,982	2,405	1,387	46.17

(2) 2022年12月期通期 連結業績予想数値の修正(2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,500	4,600	3,480	3,000	99.66
今回発表予想 (B)	19,400	3,000	7,900	6,400	212.00
増減額 (B-A)	4,900	▲1,600	4,420	3,400	
増減率(%)	33.8%	▲34.8%	127.0%	113.3%	
(ご参考) 前期実績 2021年12月期通期連結実績	14,105	3,773	4,704	2,921	97.03

(3) 2022 年上期 連結業績予想数値修正の理由について

2022 年上期は、主に下記 3 点の理由により、期初予想を超過する見通しとなりました。

① 環境エネルギー事業の新たな取り組みによる影響

- ✓ 2014 年～2016 年の間に販売した太陽光発電ファンドに関して、最近 2～3 年の間に償還を迎えた際に、自社で購入した上で「商品」勘定に計上しておりました。これらのうち 14 件を一つのファンドにまとめた「再組成ファンド」を、2022 年第 2 四半期に販売いたしました。これにより、下記ポイントにおいて期初予想との差異が生じました。

■ 「再組成ファンド」販売における当初計画との乖離したポイント

I. 純額売上計画と総額売上実績との差

販売ストラクチャーが流動的であったことから、「再組成ファンド」の売上高計画は、従来のファンドと同様に純額で計画しておりました。最終的に確定したストラクチャーに基づき、実績は総額計上となりました。

	太陽光発電所 “新規組成ファンド” (従来)	太陽光発電所 “再組成ファンド” (今回)
売上高要素	✓ 当社アレンジメントフィー	✓ 当社が「商品」勘定として保有していた太陽光発電所総資産の販売額 (当社マージン含む)
売上原価要素	✓ 投資家紹介手数料	✓ 太陽光発電所再取得価額 (減価償却後) ※ 今回は投資家紹介案件ではない

II. 上期に完売したことによる差

上期、下期に分散して「再組成ファンド」を販売する計画であったところ、上期に機関投資家 3 社への販売が実現し、すべて上期に計上されました。

② 堅調なオペレーティング・リース事業における出資金販売額の計画超過による影響

- ✓ 2022 年上期における商品出資金販売の計画金額 220 億円に対して、273 億円を販売いたしました。上期には、比較的収益性の低い案件が多かったため、出資金販売額の伸び率に匹敵する利益の伸びとはなりませんでしたが、底堅い投資家需要を背景に、見込に対して堅調な実績となりました。

③ 急激な円安に伴う為替差損益による影響

- ✓ 当社グループが保有する外貨建債権債務の決済、及び期末換算レートによる評価替に伴い、2022 年上期は、**4,254 百万円**の為替差益を計上する見通しです。

(参考) 2022 年第 1 四半期、第 2 四半期、それぞれの為替差損益状況

	2021 年 10 月～12 月	2022 年 1 月～3 月	2022 年 4 月～6 月
期初レート (A)	1 USD = 111.92 円	1 USD = 115.02 円	1 USD = 122.39 円
期末レート (B)	1 USD = 115.02 円	1 USD = 122.39 円	1 USD = 136.68 円
差 (B) - (A)	3.10 円	7.37 円	14.29 円
営業外為替差損益	1,059 百万円	1,709 百万円	2,545 百万円

(4) 2022年通期 連結業績予想数値修正の理由について

2022年通期の業績予想数値は、主に前述の上期見通し、及び後述の下期の下記変動要因を踏まえて、見直します。なお、為替レートの前提は、第2四半期末と同水準を前提としております。

① オペレーティング・リース事業の組成進捗による影響

- ✓ 第1四半期に開始予定であった、JIA Aviation Finance 合同会社(JAF社)の、合弁事業開始が遅れたことなどにより、2022年6月末時点の商品出資金残高は、計画よりも低い水準となりました。これにより、下期の商品出資金販売額は、当初予想金額430億円に対して、286億円にとどまるものと見込んでおります。
- ✓ 一方で、シニアデットによる資金調達待ちの商品が控えており、JAF社の合弁事業開始次第、次年度に向けた組成が順調に進むと考えております。

(参考) 上期・下期の修正予想差異

単位：百万円	上期		下期		通期		
	当初計画	今回発表予想	当初計画	今回発表予想	当初計画	今回発表予想	
	売上高	金額	5,190	12,500	9,310	6,900	14,500
	差		+7,310		▲2,410		+4,900
営業利益		1,240	1,500	3,360	1,500	4,600	3,000
	差		+260		▲1,860		▲1,600
経常利益		1,140	6,700	2,340	1,200	3,480	7,900
	差		+5,560		▲1,140		+4,420
親会社株主に帰属する 当期純利益		872	5,300	2,128	1,100	3,000	6,400
	差		+4,428		▲1,028		+3,400
商品出資金販売額		22,000	27,301	43,000	28,699	65,000	56,000
	差		+5,301		▲14,301		▲9,000
想定期末為替レート (1USD=)		115.02円	136.68円	115.02円	136.68円		

② 急激な円安に伴う為替差損益による影響

- ✓ 下期の為替差損益は発生しない前提とした、修正予想数値といたしております。なお、当社グループが保有する外貨建債権債務の残高は、徐々に減少しておりますが、今後の為替相場の変動により、実際の為替差損益は、発生いたします。

(業績予想に関する注意事項)

本資料の業績予想等の記述は、発表時点において入手可能な情報に基づいて作成したものです。実際の業績や事業環境は、今後様々な要因によって予想と異なる可能性がございます。

本件に関する問合せ先
 広報・IR室
 TEL：03-6550-9307

以上